

氏名	関美雪	部署	看護学科	職名	教授
研究分野	公衆衛生看護学				
学位	博士（医学）				
学歴	2015年筑波大学人間総合科学研究科社会環境医学専攻博士課程				
経歴	2019年埼玉県立大学保健医療福祉学部教授				
所属学会（役職）	日本公衆衛生学会、日本公衆衛生看護学会、日本地域看護学会、体力・栄養・免疫学会、日本小児保健協会、日本保健福祉学会、日本ヘルスプロモーション学会				

【2025年度実績】

1. 研究業績							
(1) 著作							
	著作の名称	単・共	ISBN	発行所、全ページ数		著者、編者名	発行等年月
1	養護教諭なんでも相談室「5歳児健診を通した学校と地域保健の連携について」	単著	あり	心とからだの健康 健学社 Vol.29 No.327 P36-37		関美雪	2025.5
(2) 論文							
	論文の名称	単・共	査読	IF対象誌	雑誌名、巻（号）、開始-終了ページ	著者、編者名	発表等年月
1	乳児をもつ母親の育児リカバリー経験尺度の開発	共著	あり		小児保健研究 84(4)、P292-302	伊草綾香, 延原弘章, 関美雪	2025.7
2	小学校担当教諭のワーク・エンゲイジメントと仕事時間及びジョブ・クラフティングの関連	共著	あり		ヘルスプロモーション・リサーチ17 (1)、P25-32	菊池宏, 上原美子, 関美雪, 石崎順子	2025.8
3	国保データベース（KDB）システムを利用した中高年向けの運動教室の効果評価	共著	あり		日本公衆衛生雑誌72 (10)、P793-801	丹野祐美, 延原弘章, 関美雪, 津野陽子, 柴田亜希	2025.10
(3) 学会発表							
	学会発表の演題	単・共	学会名、開催都市		発表者（発表者は○印）		発表等年月
1	第1子乳児をもつ母親の育児ストレスと関連要因：直近10年のテキストマイニングによるキーワード抽出と傾向分析	共同	第72回小児保健協会学術集会・石川県金沢市		○伊草綾香, 延原弘章, 関美雪		2025.6
2	乳幼児を持つ母親のワーク・エンゲイジメントに関連する要因の検討	共同	第72回小児保健協会学術集会・石川県金沢市		○関美雪, 柴田亜希, 伊草綾香, 丹野祐美, 黒澤恭子, 菊池宏, 石崎順子		2025.6
3	労働者におけるヘルスリテラシーと疼痛の自己効力感との関連	共同	第84回日本公衆衛生学会総会・静岡県静岡市		○岸本俊樹, 北畠義典, 関美雪, 亀山泉, 延原弘章		2025.10
4	公立小学校教員の離職者の推移と離職理由の動向に関する検討	共同	第84回日本公衆衛生学会総会・静岡県静岡市		○菊池宏, 関美雪, 上原美子, 石崎順子		2025.10
5	乳幼児を持つ母親のワーク・エンゲイジメントと相談相手の有無との関連	共同	第84回日本公衆衛生学会総会・静岡県静岡市		○伊草綾香, 延原弘章, 関美雪		2025.10
6	乳児を持つ父母の仕事と家庭の役割の両立に関する検討	共同	第84回日本公衆衛生学会総会・静岡県静岡市		○関美雪, 柴田亜希, 伊草綾香, 丹野祐美, 黒澤恭子, 菊池宏, 石崎順子		2025.10
7	小学校教員におけるワーク・エンゲイジメントの現状及び関連要因の検討	共同	第22回日本ヘルスプロモーション学会学術大会、千葉県印西市		○菊池宏, 関美雪, 上原美子, 石崎順子		2025.12
8	横臥位で行う下肢ストレッチ体操と足趾筋力・安定性の向上—地域在住高齢者のセルフケアの効果の検証	共同	第6回日本フットケア・足病医学会年次学術集会、大阪府大阪市		○佐藤玲子, 関美雪, 上原美子		2026.2

(4) その他					
	名称	単・共	発表場所等	発表者（発表者は○印）	発表等年月
1	該当なし				
2. 競争的資金等の研究					
	競争的資金等の名称		研究名	研究代表者・研究分担者の別	研究期間
1	文部科学省・日本学術振興会科学研究費補助金（基盤研究C）		ソーシャルキャピタル活用による児童虐待発生予防を目指した地域ケアシステムの構築	研究代表者	2025.4～2028.3
2	埼玉県立大学研究開発センタープロジェクト		軽度に虚弱な高齢者に有効で普及しやすいリエイブルメント・プログラムの開発及び効果検証研究	研究分担者	2024.4～2027.3
3. 教育業績					
(1) 講義					
	講義の名称	科目責任者	コマ数	概要（教育内容・方法等において工夫した点）	
1	保健医療福祉行政論	○	8	行政における保健師活動の基盤となる地域保健法、財政のしくみ、保健福祉計画の策定と評価について教授した。	
2	地域看護学Ⅰ	○	3	ライフステージに沿って、健康な生活を支援するしくみと看護職の役割について教授した。	
3	広域看護学特論	○	4	地域組織活動と看護職の役割、健康増進施策における保健活動の特徴、健康課題解決につながる方策について教授した。	
4	ヘルスプロモーション論		2	ヘルスプロモーションの視点から、健康なまちづくりに寄与する地域看護学分野の専門職の地域連携における役割について教授した。	
5	地域ケア支援論		4	保健活動を展開する理論を学ぶ内容とともに、児童虐待の事例研究から地域ケアにおける支援の内容について理解できるよう工夫した。	
6	政策評価論		4	母子保健分野における近年の健康課題と課題解決のための施策の動向、評価計画に基づく目的・目標達成のための評価方法を教授した。	
7	養護実践特論		1	学校看護における研究の動向と実際について、学校と地域との連携、国内外の健康に関する教育政策について教授した。	
8	次世代育成看護論		15	次世代を育む親となるための支援などに関する研究論文等の文献から、課題解決のための研究的アプローチについて教授した。	
(2) 演習					
	演習の名称	科目責任者	コマ数	概要（教育内容・方法等において工夫した点）	
1	地区診断論		9	健康課題を明確化するために、実習地を事例としたデータを用いた演習を行い、公衆衛生看護学実習の実践につながるよう工夫した。	
2	公衆衛生看護技術Ⅰ		8	相談及び家庭訪問、乳幼児健診における援助技術の演習を行い、公衆衛生看護学実習の実践につながるよう工夫した。	
3	公衆衛生看護技術Ⅱ		8	地区診断で分析した健康課題をふまえて健康教育の立案・実施・評価までの演習を行った。	
4	公衆衛生看護技術Ⅲ		8	PDCAサイクルを駆使した保健事業の展開を通じて、住民との協働及び多職種連携の重要性についての理解を深めた。	
5	地域看護学Ⅲ		9	在宅看護における看護過程の特徴と展開の方法について、事例の情報からアセスメントと看護課題の検討までの演習を行った。	
6	教職実践演習		15	学生自らが、保健室経営ができる養護教諭として必要な資質能力を確認し、不足する知識技能等を補えるように演習を行った。	

(3) 実習				
	実習の名称	科目責任者	学外実習：期間 学内実習：コマ数	概要（教育内容・方法等において工夫した点）
1	公衆衛生看護学実習		2025.5～2025.6	公衆衛生看護の活動の特徴と保健師の支援方法の理解が深まるよう指導した。
2	地域看護学実習		2025.10～2025.12	訪問看護師の役割の理解や、地域包括支援センターの役割について理解につながる課題を提示しディスカッションを行った。
3	養護実習Ⅰ		2025.9～2025.10	養護教諭としての学校における役割と学校組織を学ぶことを目的として学習支援を行った。
4	養護実習Ⅱ		2025.5～2025.6	養護教諭としての専門性及び実践力を修得し、保健室経営に必要な理論と方法を学ぶことを目的として学習支援を行った。
5	総合実習		2025.7	地区診断を踏まえた保健師活動の企画実施評価までのプロセスの学習と公衆衛生看護活動における保健師の役割の理解を深めた。
6	IPW実習		2025.8	IPW実習の目的に沿って、所属の異なる学生が、意見を出し合い、ディスカッションできるよう学習支援を行った。
(4) 論文指導				
	対象	期間	主指導・副指導の別及び指導人数	
1	卒業論文	2025.4～2026.3	主指導 4名	副指導 名
2	修士論文	2025.4～2026.3	主指導（指導教員） 1名	副指導（指導補助教員） 名
3	博士論文	2025.4～2026.3	主指導（指導教員） 1名	副指導（指導補助教員） 3名
(5) その他				
	名称	期間	概要（教育内容・方法等において工夫した点）	
1	養護教諭就職支援	2025.4～2026.3	養護教諭就職を希望する学生に対して、集団討論、個別面接を行った。	
4. 社会貢献活動				
(1) 講演会、研修会、公開講座等の講師				
	講演会、研修会、公開講座等の名称	主催	講演、研修、公開講座等のテーマ	開催年月
1	オープンカレッジ 卒業生等支援講座「卒業生保健師勉強会」	地域看護学領域	保健師としての知識やスキルアップを目指した勉強会を3回開催した。 1.「5歳児健康診査から始まる切れ目のない支援の実現に向けて」 2.「保健活動のためのデータリテラシー」 3.「児童福祉施設からみた子どもと家族-保健師に知っておいてほしいこと-」	2025.7 2025.10 2026.3
2	全国保健師教育機関協議会 関東甲信越ブロック研究会	北関東甲信越ブロック	保健師国家試験作問演習を行った。 「保健師教育に活かす 国家試験問題作問チャレンジ（実践編）」	2026.1
(2) 国、自治体、学術団体等における委員等				
	国、自治体、学術団体等の名称		委員等の名称	任期
1	埼玉県児童虐待重大事例検証委員会		委員	2021.4～現在
2	川口市介護保険認定審査会		委員	2005.4～現在
3	川口市地域保健審議会委員		委員	2017.7～現在
4	越谷市まちの整備に関する審議会		委員	2015.11～現在
5	埼玉県訪問看護推進検討委員会		委員	2025.2～現在
6	埼玉県国民健康保険団体連合会介護サービス苦情処理委員会		委員	2024.1～現在
7	三郷市健康推進協議会		委員	2025.10～現在
8	埼玉県立常盤高等学校学校評議員		委員	2025.5～現在
9	日本公衆衛生看護学会		査読委員	2016.4～現在
10	全国保健師教育機関協議会「保健師教育」		査読委員	2019.10～現在

(3) ジャーナリズムでの発言			
	メディア等の名称	内容	年月
1	該当なし		
(4) その他			
	項目	相手方等	内容 期間
1	該当なし		
5. 学内運営			
	項目	内容	期間
1	全学的委員会及びセンター業務等	大学院教務委員会	2025.4～2026.3
2	全学的委員会及びセンター業務等	養護実習履修者審査	2025.4～2026.3
3	全学的委員会及びセンター業務等	教職関連科目担当者委員	2025.4～2026.3
4	学科等における委員会等	保健師・助産師関連科目履修者選考委員	2025.4～2026.3
6. 受賞（研究、教育、社会貢献活動に関するもの）			
	受賞名	主催	受賞年月
1	該当なし		
7. 特許の取得			
	特許名	特許番号	登録年月
1	該当なし		
8. 特記事項			
1	第27回埼玉県健康福祉研究発表会座長		